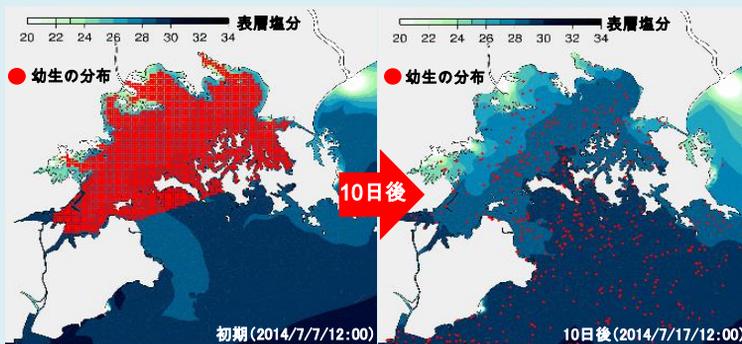
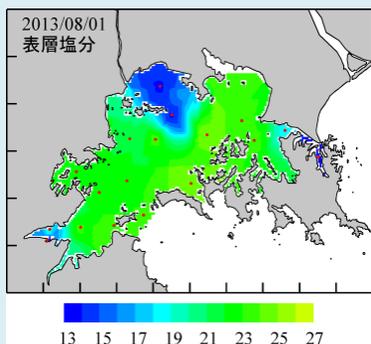


種カキの安定確保を助ける技術開発

技術の概要

種カキ産地である松島湾で採苗器投入時期を決めるための情報配信システムを作りました。

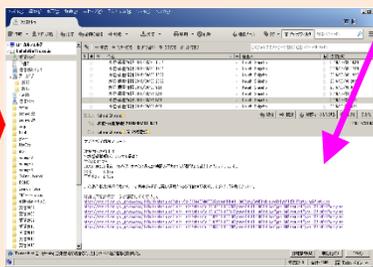
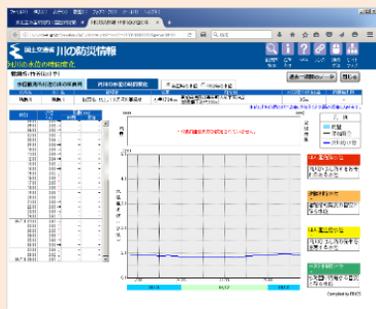


- 宮城県松島湾の流れを再現する技術を開発し、幼生輸送パターンを予測
- 近年の採苗不良は、降雨による湾内の低塩化に起因するため、降雨・河川水位の情報から採苗器を投入すべきでない警告を発信するシステムを構築

期待される効果

国土交通省「川の防災情報」

採苗不適時期を知らせる注意情報を通知



沿岸養殖通報 (第14報)

【種がき 平成27年7月28日】



本日、カキ浮遊幼生調査を実施しましたので結果をお知らせします。
※今年度も国立研究開発法人水産総合研究センター東北水産研究所の協力を
得て調査しております。



採苗の安定化に貢献！

湾外への幼生の流出につながる降雨・河川水を Web から位情報を自動的に関係者に配信させ、適切な採苗器投入時期を決めるための情報提供をします

【お問い合わせ先】 神山 孝史
国立研究開発法人水産研究・教育機構 東北水産研究所
TEL: 0193-63-8121 [代表] E-mail: Kamiyama@affrc.go.jp

当該技術は農林水産省委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の成果です。